

磯浜古墳群

いそはまこふんぐん

国指定 史跡

磯浜古墳群は、令和2年3月10日
国の史跡として指定されました。

いそはまこふんぐん
磯浜古墳群は、3世紀後半～4世紀代、古墳時代前期～中期初頭に造られた、権力を持った首長のお墓です。太平洋を臨む400m四方の独立した高台に展開し、総数6基から構成されます。

ひめづか
姫塚古墳(前期前半、墳長29mの前方後方墳)は、茨城県北部の弥生社会の中に入ってきた最も古い時期の古墳です。

ごほんまつ ごほんまつした
五本松・五本松下古墳は、高まりが削られ、実態が良く分かりません。

ぼちやのやま
坊主山古墳(前期後葉、60m級の前方後円墳)は、この地域では最も古い埴輪を持つ古墳です。

ひさげづか
日下ヶ塚古墳(前期末葉、墳長101mの前方後円墳)は、後円部中央から粘土槨が発見され、精巧に作られた石製模造品や鏡など4,000点の副葬品が発見されています。

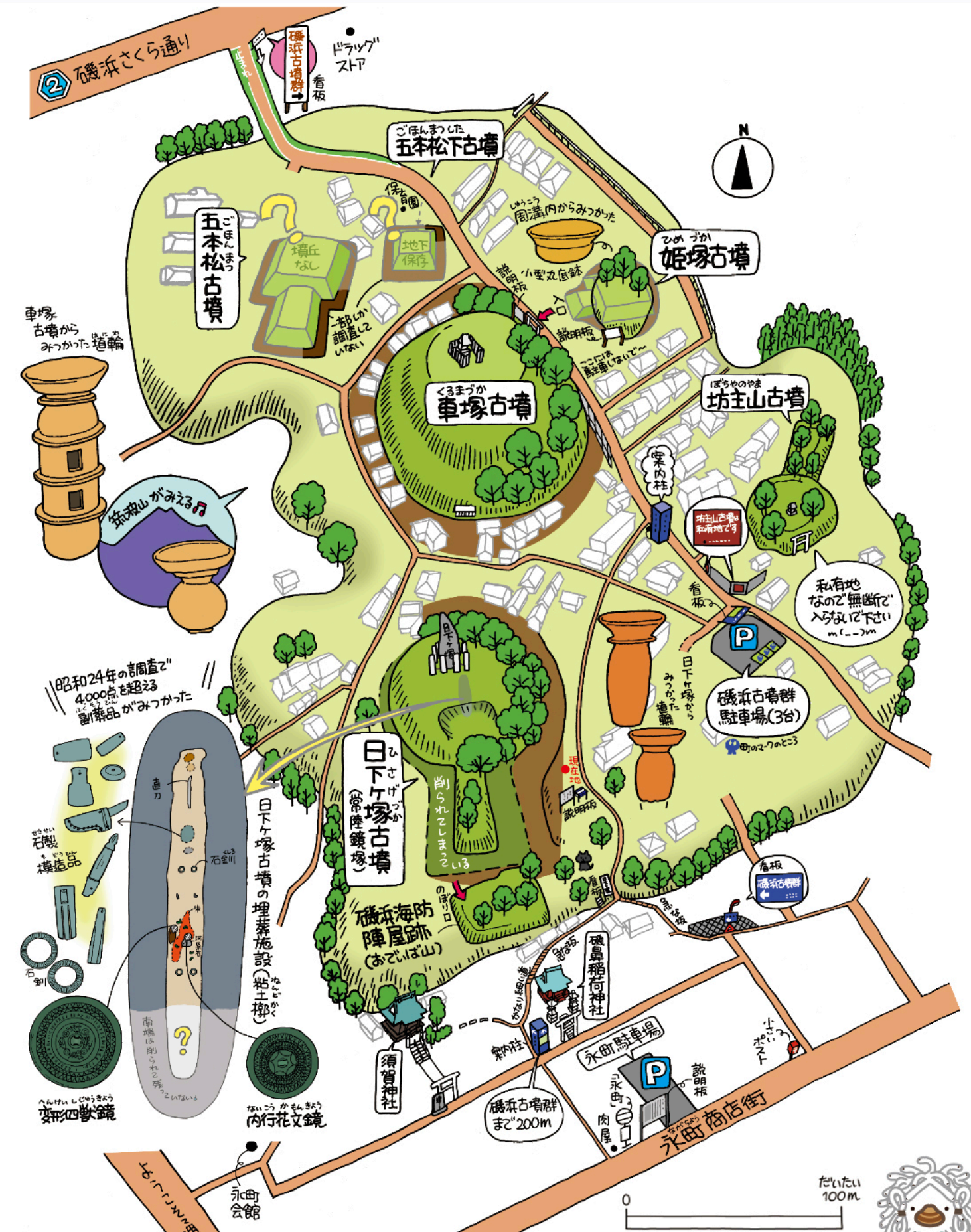
くるまづか
車塚古墳(中期初頭、直径88mの円墳)は、全国有数の大型円墳です。全面に石が葺かれ、三段のテラス上には朝顔形円筒埴輪が並びます。

まいそうしせつ
当時最新の古墳の形を採用し、埋葬施設や副葬品、葺石や埴輪などに、ヤマト王権とのつながりを読み解けます。那珂川河口部の水運拠点を押さえ、モノの流通ネットワークを掌握した歴代の首長像が浮かび上がります。

いせん
日下ヶ塚古墳一体は、江戸時代後期には、異船の監視を行った水戸藩の磯浜海防陣屋として利用されています。



磯浜古墳群のお問い合わせは
大洗町教育委員会 生涯学習課
文化財係 ☎ 029-267-0230



令和5年2月5日



旧石器

縄文

弥生

2000年前

古墳

- 姫塚古墳
- 五本松古墳
- 五本松下古墳
- 坊主山古墳
- 日下ヶ塚古墳
- 車塚古墳

1500年前

奈良 平安

1000年前

中世

500年前

近世

近代 現代